



「水族館へ行こう！おもしろいきものポケット図鑑」  
月刊アクアライフ編集部/編  
株式会社エムピージャー/出版

すいそう 水族館の大きな水槽の中を、あざやかに泳ぎ回る色とりどりの魚。合図にあわせて跳んだりはねたり、器用な動きで私たちを楽しませてくれる、イルカやアシカ。みんなは水族館のいきものたちのことをどれくらい知っているでしょうか？

アザラシは水の中で<sup>ねむ</sup>眠ってもおぼれない？サメがもつ、えものをさがすための<sup>とくしゅ</sup>特殊能力とは？

知識をそなえて見てみると、同じ水族館でも違って見えるかもしれませんよ！



「チリメンモンスターをさがせ！」  
きしわだ自然資料館/監修  
きしわだ自然友の会/監修  
日下部 敬之/監修  
偕成社/出版

みなさんのお家の食卓にも、小さな水族館があることを知っていますか？そう、スーパーマーケットで買った、「チリメンジャコ」です。

シラスを塩ゆでしたあとに干してつくるチリメンジャコには、シラスと一緒に泳いでいたほかのいきものが混ざることがあります。なんだかコワイ顔をしたエビのなかまや、<sup>きみょう</sup>奇妙でカラフルな姿をしたヒトデなど、次々に現れるそれはまさにモンスター！たくさんのモンスターをみつけたら、その正体はなんなのか、みんなで観察してみましょう。



「ムラサキダコ」  
中村 宏治/写真・文  
奥谷 喬司/監修 フレーベル館/出版

海の中、じまんのマントをおおきく広げて泳ぐふしぎな影。クラゲやマンタではありません、ムラサキダコです。

水族館や魚屋さんでよく見るタコは、海底の岩のあいだなどでくらしています。しかしムラサキダコは、ひろい海をおよぎまわって暮らしているのです。どうしてそんなくらしをしているのか、そしておおきなマントはなんのためにあるのか？

ふしぎなタコの生態を、写真つきで紹介しています。

このほかにも、水族館や水辺のいきものに関する本を展示しています！



イベントと合わせてお楽しみください！

